

奈良市役所を出発する「ピースラン'89」の参加者ら



ス'89
ラン
ピース

大和路を駆ける

平和への願い込めて

「人類は一つ、平和な世の中にしよう」という願いを込めて聖火をマラソン・リレーする「ピースラン'89」が三十日、奈良県入り、奈良市役所でバトンタッチを行った。

「奈良市民走ろう会」(九十人の十八人が聖火をリレー。発案者のインド人哲学者、シユリ・チンモイ氏)の平和メッセージを読みあげた。

「ピースラン」は昭和六十二年、第一回が行われ、同年四月から八月にかけて世界五十五カ国の約二万人の手で実施された。今月十八日に札幌市役所をスタートした聖火は仙台、東京、伊賀上野などを

り。JR平城山駅前からバトンタッチした奈良市民走ろう会は、田原幸男会長(左)を先頭に十六人が同市役所までの

松阪肉 びんごき
KAWASAKI RIBBON 051333

約七キロを走破。「PEACE RUN '89」とプリントされたたすきを次走者の「登美ヶ丘カトリッククラブ」の白石雅紀さん(四九)に手渡した。

正面玄関で行われたセレモニーで、ピースラン関西地区実行委員長の安井田さん(三六)が「日本よ、あなたは絶えずアジアで新しいものを生みだしてきた。それを平和のため

に使って下さい」とチンモイ氏のメッセージを読みあげた。

たすきをリレーした田原会長は「世界平和のリレーに参加して気持ちが一つにつながったような気分です」と興奮ぎみに話していた。リレーはこの日は奈良西署をまわり、大阪港へ。四国、中国を経て八月五日、長崎にゴールする。